

第 2 章

施策 3 基本事業 1

評価対象年度	令和 6 年度	事務事業評価シート				作成日	令和 7 年 5 月 28 日
事務事業名	交通安全推進事業				事業類型	活動支援	
担当部課G等	市民生活部 防災課		防災G		記入者氏名		
総合計画体系	施策の大綱(施策名)		第2章 安全で快適に暮らせるまちづくり				■ 実施計画 対象事業
	施策名		3 交通安全を推進する				
	基本事業名		1 交通安全意識の啓発				
予算科目	一般会計	款 02	項 01	目 10	事業名 交通安全推進事業	根拠法令	
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度 ～ 年度)						
事業概要							
【全体概要】				【業務内容】			
幼稚園の園児・小学校の児童・中学校の生徒、及び高齢者等を対象に交通安全教室を開催し、交通事故防止の啓発活動を行う。				・幼稚園、小中学校及び高齢者を対象に交通安全教室の実施。 ・交通事故防止啓発グッズ(反射材など)の配布。 ・関連上部団体「県安全運転管理協会」への負担金支払い事務。 (「地区安管」は事務局も行っている。) ・各季交通安全キャンペーンの実施			

1 現状把握の部(DOシート)

(1) 事務事業の目的と効果・指標等の推移		単位	05年度 (実績)	06年度 (実績)	07年度 (見込)	08年度 (計画)	09年度 (計画)
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	④対象指標(対象の大きさを表す指標)						
市内の保育所・幼稚園児、小学校児童、中学校の生徒 高齢者(65歳以上)	園児・児童・生徒数	人	5157.	5127.	5031.	4936.	4842.
	高齢者数	人	17566.	17652.	17685.	17718.	17751.
②手段(具体的な事務事業のやり方)	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						
・幼、小中学校で交通安全教室の実施 ・高齢者に対し、交通安全教室の実施 ・交通安全グッズを購入し配布	幼、小中学校の交通安全教室開催回数	回	17.	16.	16.	16.	16.
	高齢者交通安全教室への参加者数	人	20.	18.	40.	40.	40.
			0.	0.	0.	0.	0.
			0.	0.	0.	0.	0.
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)	⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)						
交通事故発生件数、被害者・加害者が共に減少し、交通事故防止につながる	交通事故件数	件	135.	85.	85.	85.	85.
	うち高齢者が関わる事故件数	件	61.	35.	35.	35.	35.
	交通事故による死者数	人	0.	1.	0.	0.	0.
			0.	0.	0.	0.	0.

(2) 投入量の推移		単位	05年度(実績)		06年度(実績)		07年度(見込)		08年度(計画)		09年度(計画)		総事業費	
事業費内訳	国庫支出金	千円	0		0		0		0		0		0	
	県支出金	千円	0		0		0		0		0		0	
	地方債	千円	0		0		0		0		0		0	
	その他	千円	66		70		63		63		63		0	
	一般財源	千円	1,274		1,950		1,934		1,934		1,934		0	
	事業費計(A)	千円	1,340		2,020		1,997		1,997		1,997		0	
	人件費計(B)	千円	3,100	0.50人	2,260	0.40人	1,560	0.30人	1,560	0.30人	1,560	0.30人		
投入量(A)+(B)		千円	4,440		4,280		3,557		3,557		3,557			

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等

<p>①事業を始めたきっかけ</p>	<p>道路網が整備され、車社会が進展し、交通事故が増加。この状況を懸念し、特に幼稚園児・小学校児童・中学生生徒といった若年層や、高齢者に向けて、交通安全の意識の高揚と交通事故防止を図る必要が生じたため。</p>
<p>②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか？ 開始時期と比べてどう変わりましたか？)</p>	<p>現在の車社会において大きな状況の変化は見られないが、全国的に高齢者が関わる交通事故の割合が増えている。</p>
<p>③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか？)</p>	<p>高齢者クラブなどから、高齢者が関わる交通事故が後を絶たないため、高齢者向けの交通安全講習会を実施してほしいとの意見が出ている。</p>

前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前回最終評価) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持	(前回評価結果を踏まえて見直した内容) 自動車急発進抑制装置の購入設置費補助について、市民に周知を図るため、市内自動車整備工場等に制度の説明資料を送付した。令和6年度の制度利用者数は1件であった。	(見直し内容に関する予算への反映) <div style="display: flex; align-items: center;"> <input type="checkbox"/> 削減(事業費) <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-left: 10px;">0</div> 千円) (人件費) <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-left: 10px;">0</div> 千円) <input checked="" type="checkbox"/> 増加(事業費) <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-left: 10px;">450</div> 千円) (人件費) <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-left: 10px;">0</div> 千円) <input type="checkbox"/> 反映なし </div>
--	---	---	--

目的 妥当性 評価	<p>① 市関与の妥当性</p> <p>●市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか？●国や県ではなく、市が実施する理由はなんですか？●民間事業者は類似の事業を実施していますか？</p>	<p><input type="checkbox"/> 妥当である</p> <p><input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部に「現状維持」以外にチェック)</p> <p>安全で快適に暮らせるまちづくりには、交通安全対策が不可欠であるため那珂警察署等関係機関と連携を図り、市が実施する必要がある。</p>
	<p>② 成果の向上余地</p> <p>●当初の見通しに沿った成果となっていますか？●成果が一部の対象者に限定されてはいませんか？●対象数が増加している場合、現状とおりの対応では十分に成果が得られないおそれはありませんか？</p>	<p><input type="checkbox"/> 余地がない</p> <p><input type="checkbox"/> 余地がある(→3計画の部に「現状維持」以外にチェック)</p> <p>令和6年度の本市における交通事故発生状況は、前年比で約40%の削減となっていることから、見通しに沿った成果を上げている。</p>
有効性 評価	<p>③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性</p> <p>●市の事業で対象指標や活動指標が似ているものはありますか？●廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込めますか？</p>	<p><input type="checkbox"/> 統廃合の余地がない</p> <p><input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部に「現状維持」以外にチェック)</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部に「現状維持」以外にチェック)</p> <p>市事業において、交通安全の推進、意識の向上を掲げた事業が無いため、現時点で統廃合の余地は無い。</p>
	<p>④ 事業費や人件費の削減余地</p> <p>●成果を下げずに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？●担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？●事業目的にそぐわない支出はありませんか？</p>	<p><input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない</p> <p><input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部に「現状維持」以外にチェック)</p> <p><input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない</p> <p><input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部に「現状維持」以外にチェック)</p> <p>必要最小限の人員で対応しているため、人件費の削減は困難である。</p>
効率性 評価	<p>⑤ 受益者負担の適正余地</p> <p>●事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？●受益者負担を求める事業ではない・負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？</p>	<p><input type="checkbox"/> 適正である</p> <p><input type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部に「現状維持」以外にチェック)</p> <p>● 受益者負担を求める事業ではない</p> <p>本事業は、市民の交通安全に対する意識の啓発事業であることから、受益者負担を求めるものではないため。</p>
公平性 評価		

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性)

※担当課長、グループ長、担当者が記載

<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合	
<input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) → { <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 公平性の改善	<input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 効率性の改善
→ <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)	

改革・改善の具体的内容(改革案・実行計画)

改革・改善による期待成果

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持		○	×
	低下	×	×	×

(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) ※担当部長が記載

☐ 終了 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 統廃合 ☒ 継続 (☒ 見直し ☐ 現状維持)

改革・改善の具体的内容(1次評価者と同じの場合も記入)

高齢者の交通安全教室等、新たな交通安全事業の創出を図る。

(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))

☐ 終了 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 統廃合 ☐ 継続 (☐ 見直し ☐ 現状維持)

(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)

☐ 終了 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 統廃合 ☐ 継続 (☐ 見直し ☐ 現状維持)

評価対象年度	令和 6 年度	事務事業評価シート				作成日	令和 7 年	5 月	28 日
						点検日			
事務事業名	各種団体補助事業					事業類型	負担金・補助金		
担当部課G等	市民生活部 防災課				防災G	記入者氏名			
総合計画体系	施策の大綱(施策名)		第2章 安全で快適に暮らせるまちづくり					■ 実施計画 対象事業	
	施策名		3 交通安全を推進する						
	基本事業名		1 交通安全意識の啓発						
予算科目	一般会計	款 02	項 01	目 10	事業名 各種団体補助事業	根拠法令			
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ					<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度 ～ 年度)	
事業概要									
【全体概要】 交通安全意識の高揚・思想の普及などに寄与する、交通関係団体の活動を支援する。					【業務内容】 ・各交通関係団体(那珂地区交通安全協会、那珂地区交通安全母の会)への補助・交通安全推進協議会の事務局・各団体事業への参加・協力				

1 現状把握の部(DOシート)

(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移					単位	05年度 (実績)	06年度 (実績)	07年度 (見込)	08年度 (計画)	09年度 (計画)	
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等					④対象指標(対象の大きさを表す指標)						
各交通関係団体(交通安全母の会、那珂地区交通安全協会)					団体数	団体	2.	2.	2.	2.	
							0.	0.	0.	0.	
②手段(具体的な事務事業のやり方)					⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						
・各交通安全団体の補助金交付 ・交通安全推進協議会の事務局を担うことによって市民が交通事故に遭わないよう、交通事故防止運動や活動を行ってもらう					補助金額	千円	1050.	1050.	1050.	1050.	
							0.	0.	0.	0.	
							0.	0.	0.	0.	
							0.	0.	0.	0.	
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)					⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)						
各交通関係団体事業の充実と事業の活性化を図り、交通事故件数の減少を図る。					交通事故件数	件	135.	85.	85.	85.	
					交通事故による死者数	人	0.	1.	0.	0.	
					団体の実施事業(開催)回数	回	18.	23.	23.	23.	
							0.	0.	0.	0.	
(2)投入量の推移					単位	05年度(実績)	06年度(実績)	07年度(見込)	08年度(計画)	09年度(計画)	総事業費
事業内 費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0		
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0		
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0		
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0		
	一般財源	千円	1,050	1,050	1,050	1,050	1,050	1,050	0		
	事業費計(A)	千円	1,050	1,050	1,050	1,050	1,050	1,050	0		
	人件費計(B)	千円	2,520	0.40人	2,410	0.40人	400	0.10人	400	0.10人	
投入量(A)+(B)		千円	3,570	3,460	1,450	1,450	1,450				
(3)事務事業の環境変化・市民意見等											
①事業を始めたきっかけ		それぞれの団体の設立がきっかけとなる。交通安全推進協議会(平成19年度)……即補助開始 那珂地区交通安全母の会(昭和43年度)…… 那珂地区交通安全協会(昭和23年) 補助開始時期不明									
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)		自転車運転中の携帯電話使用等に起因する交通事故や、自転車を酒気帯び状態で運転した際の交通事故が死亡・重傷事故となる場合が高いことから、交通事故を抑止するため新しく罰則規定が整備された。									
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)		特になし。									

第 2 章

施策 3 基本事業 2

評価対象年度	令和 6 年度	事務事業評価シート				作成日	令和 7 年	6 月	10 日			
						点検日						
事務事業名	交通安全施設整備事業					事業類型	施設設営・維持管理					
担当部課G等	建設部 土木課		維持管理グループ		記入者氏名							
総合計画体系	施策の大綱(施策名)		第2章 安全で快適に暮らせるまちづくり					■ 実施計画 対象事業				
	施策名		3 交通安全を推進する									
	基本事業名		2 交通安全環境の整備									
予算科目	一般会計	款 07	項 01	目 02	事業名 交通安全施設整備事業	根拠法令						
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ					<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度 ～ 年度)				
事業概要												
【全体概要】 交通安全施設の整備・道路における円滑な交通を維持し安心安全な交通環境を確保する。					【業務内容】 ガードレール、警戒標識、カーブミラー、交差点照明灯などを設置するするための設計、積算及び監督。							
1 現状把握の部(DOシート)												
(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移						単位	05年度 (実績)	06年度 (実績)	07年度 (見込)	08年度 (計画)	09年度 (計画)	
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等						④対象指標(対象の大きさを表す指標)						
・市道 ・交通安全施設(カーブミラー等)						市道認定延長	km	1164.03	1164.06	1164.2	1164.4	1164.6
							件	0.	0.	0.	0.	0.
②手段(具体的な事務事業のやり方)						⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						
・ガードレール、警戒標識、カーブミラー、区画線、交差点照明等の設置						交通安全施設(カーブミラー等)の要望件数	件	72.	65.	70.	70.	70.
						施設設置件数	件	20.	36.	20.	20.	20.
								0.	0.	0.	0.	0.
								0.	0.	0.	0.	0.
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)						⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)						
・市道における交通の安全を図る						整備率＝設置件数/要望件数(カーブミラー等)	%	100.	100.	100.	100.	100.
						交通事故件数	件	52.	37.	37.	37.	37.
								0.	0.	0.	0.	0.
								0.	0.	0.	0.	0.
(2)投入量の推移						単位	05年度(実績)	06年度(実績)	07年度(見込)	08年度(計画)	09年度(計画)	総事業費
事業内 費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	源地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	その他の	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	一般財源	千円	13,409	13,761	13,840	13,840	13,840	0				
	事業費計(A)	千円	13,409	13,761	13,840	13,840	13,840	0				
	人件費計(B)	千円	1,010	0.20人	1,070	0.20人	1,070	0.20人				
投入量(A)+(B)		千円	14,419	14,831	14,910	14,910	14,910					
(3)事務事業の環境変化・市民意見等												
①事業を始めたきっかけ		市道の管理が始まった段階から行っている。										
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)		市道が拡幅改良及び舗装され交通量が増加している。安全に対する住民意識の向上。										
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)		学校から通学路の安全施設設置の要望が特に多い。										

前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前回最終評価) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	(前回評価結果を踏まえて見直した内容)	(見直し内容に関する予算への反映) <div> <input type="checkbox"/> 削減（事業費）0 千円 (人件費) 0 千円 <input type="checkbox"/> 増加（事業費）0 千円 (人件費) 0 千円 <input checked="" type="checkbox"/> 反映なし </div>
--	--	----------------------------	---

<p>目的 妥当性 評価</p>	<p>① 市関との妥当性</p> <p>●市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか？●国や県ではなく、市が実施する理由はなんですか？●民間事業者は類似の事業を実施していますか？</p>	<p><input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック)</p> <p>市道の管理に付帯する交通安全施設の整備は、行政が行われなければならない。</p>
<p>有効性 評価</p>	<p>② 成果の向上余地</p> <p>●当初の見通しに沿った成果となっていますか？●成果が一部の対象者に限定されてはいませんか？●対象数が増加している場合、現状どおりの対応では十分に成果が得られないおそれはありませんか？</p>	<p><input type="checkbox"/> 余地がない <input type="checkbox"/> 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック)</p> <p>管理する範囲は決まっており、設置要望に対して可能なものについては対応出来ている。</p>
<p>有効性 評価</p>	<p>③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性</p> <p>●市の事業で対象指標や活動指標が似ているものはありますか？●廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込まれますか？</p>	<p><input type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック)</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック)</p> <p>類似事業がなく、市道の安全を確保するためには、廃止・廃止は出来ない。</p>
<p>効率性 評価</p>	<p>④ 事業費や人件費の削減余地</p> <p>●成果を下げずに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？●担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？●事業目的にそぐわない支出はありませんか？</p>	<p><input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック)</p> <p><input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック)</p> <p>安全施設の要望が多々あり、すべて対応するには財源が必要となるため、事業費の削減余地はない、また、直営での対応も行っており、人件費の削減余地もない。</p>
<p>公平性 評価</p>	<p>⑤ 受益者負担の適正余地</p> <p>●事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？●受益者負担を求める事業ではない・負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？</p>	<p><input type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック)</p> <p><input type="checkbox"/> 受益者負担を求める事業ではない</p> <p>道路の安全施設は、不特定多数の住民が受益する施設であるため財源配分は公平である。</p>

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性)

※担当課長、グループ長、担当者が記載

<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合	
<input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) → { <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 公平性の改善	<input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 効率性の改善
→ <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)	

改革・改善の具体的内容(改革案・実行計画)

改革・改善による期待成果

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持		○	×
	低下		×	×

(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) ※担当部長が記載

☐ 終了 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 統廃合 ☒ 継続 (☐ 見直し ☒ 現状維持)

改革・改善の具体的内容(1次評価者と同じの場合も記入)

(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))

☐ 終了 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 統廃合 ☐ 継続 (☐ 見直し ☐ 現状維持)

(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)

☐ 終了 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 統廃合 ☐ 継続 (☐ 見直し ☐ 現状維持)